学校番号	３００７

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭 707　保育基礎（実況出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達と保育について基礎から学びます。妊娠や出産、乳児のいる生活、子どもが育つ環境、成長や発達の過程などについて、親の視点だけではなく、配偶者やきょうだいなど身近な人ができるサポートや社会の視点にまで広げて子どもを産み育てることについて考え学ぶ授業です。2 学期には近くの保育所に訪問させていただき、集団保育の現場での体験学習の実施を計画しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
子どもの成長や発達に関する基礎的な知識を身に付ける
乳幼児のお世話やかかわり方（保育にかかる衣食住）に関わる基本的な技術や態度を身に付ける
【思考力・判断力・表現力等】
子どもの発達や保育の現状を学び課題を見つけ、解決を目指し思考を深める
子どもとふれあい子どもについての理解を深める
【学びに向かう力、人間性等】
子どもの発達と保育について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む
子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付ける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性と過程、子どもの生活や保育、福祉に関わる様々な事例を通して、検討できる。基礎的・基本的な知識・技能を身につけている。	子どもを取り巻く社会環境における課題について考え、解決に向け思考を深め、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	座学、実技、作品制作などそれぞれの授業に主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの発達の特性と過程	・胎児の発育・発達 ・乳児のいる生活 ・沐浴 ・布おむつと紙おむつの比較、実験、考察 ・乳幼児発育・発達 ・運動機能と感覚機能 ・言葉と情緒の発達 ・愛着関係と人格形成 ・絵本の読み聞かせ練習	a: 様々な事例を通して、検討する、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける b: 関心を持ち、意欲的な態度をとる c: 主体的に課題をみつけ、解決策を考える	授業観察 プリント レポート 定期考査	授業観察 プリント レポート	授業観察 プリント レポート 作品完成度
2学期	子どもの生活　子どもの保育	・栄養と食事 ・子どもの遊び ・生活習慣の形成 ・健康管理と事故防止 ・保育の意義と重要性 ・家庭保育と集団保育 ・子どもとのかかわり方 ・絵本の読み聞かせ発表 ・保育所実習	a: 様々な事例を通して、検討する、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける b: 関心を持ち、意欲的な態度をとる c: 主体的に課題をみつけ、解決策を考える	授業観察 プリント 実技テスト 定期考査	授業観察 プリント レポート	授業観察 プリント レポート 作品完成度
3学期	子どもの福祉	・子どもの福祉 ・子育て支援 社会的支援の必要性 児童虐待とその予防 これからの子育て支援 子育て支援の課題	a: 様々な事例を通して、検討する、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける b: 関心を持ち、意欲的な態度をとる c: 主体的に課題をみつけ、解決策を考える	授業観察 プリント レポート 定期考査	授業観察 プリント レポート	授業観察 プリント レポート 作品完成度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度